

第10回神奈川県弁護士会市民会議 議事概要（平成30年3月6日）

3月6日、当会会館において、当会主催の市民会議が開催された。

市民会議は、毎年2、3回開催されており、今回で10回目となる。今回より、加藤憲一小田原市長が市民委員に加わり、多様な分野において活躍する市民委員により、当会の活動に関して活発な意見交換がなされた。

今回の市民会議では、法曹志願者減少問題について、法曹志願者問題対策ワーキングチームの中道徹会員、小平展洋会員から、犯罪被害者と報道について、犯罪被害者支援委員会委員である武内大徳会員、上平加奈子会員から、概略説明及び問題意識の提示がなされた。

法曹志願者減少問題については、都市部、それ以外の地域での弁護士の就職状況や法曹の魅力についていかに発信するかといった点について、市民委員より様々な意見が出された。犯罪被害者と報道については、犯罪被害者のプライバシー、報道の自由を中心に、犯罪被害者の実名報道、顔写真掲載がどのような理由で必要となるのか、公表された情報がインターネット上に半永久的に残ってしまう現代的な課題等について、活発な意見交換がなされた。

今回をもって池田龍彦議長、柿本章子市民委員が退任となった。